

視 察 概 要

◎令和7年3月17日（月）午前10時00分～午前11時50分

予算特別委員会産業建設分科会 現地視察

（①京都・亀岡保津川公園、②桂川西工区橋梁（大井町並河荒内地内）、
③竹林（河原林町・若宮神社周辺）、④亀岡運動公園）

<①京都・亀岡保津川公園>



<②桂川西工区橋梁（大井町並河荒内地内）>



<③竹林（河原林町・若宮神社周辺）>



<④亀岡運動公園>



視察先	①京都・亀岡保津川公園、②桂川西工区橋梁（大井町並河荒内地内）、 ③竹林（河原林町・若宮神社周辺）、④亀岡運動公園 （視察日時：令和7年3月17日（月）午前10時00分～）
調査項目	○予算特別委員会産業建設分科会 現地視察 ・全国都市緑化フェア会場、桂川西工区橋梁及び竹林の整備状況の視察
視察の目的	○令和7年度当初予算において審査するに当たり、担当課からの説明を受ける中で各事業の予算額が適正であるかを確認し、課題及び今後の展望について把握するため、現地視察を行う。
委員の意見等	○ＪＲ亀岡駅北や亀岡運動公園が、全国都市緑化フェアの開催を契機に本市のイメージアップに繋がり、移住促進やふるさと納税の増加に寄与することを望むとともに、原風景になじむガーデンシティ亀岡の構築になるものと願う。 竹林は、京都府下で最大面積を誇る本市であるため、放置竹林の整備は必要であり、今後は炭素化で土壌改良やバイオ炭で有機農法の利活用による市内循環型社会に向けた仕組みづくりが必要である。また、緑化フェアでは竹を活用した大型モニュメントを期待する。 国営緊急農地再編整備事業「桂川西地区」の橋梁は並河町内の狭小な旧道と混雑する国道9号の代替え道路となり得るべき橋梁であるが、取り付け道路の今後の整備が必要と感じた。しかし、桂川西工区は見違えるように変貌することを確信した。 ○全国都市緑化フェア会場（京都・亀岡保津川公園および周辺、亀岡運動公園および周辺）の2か所の現地視察は、整備計画の資料と照らし合わせて現地を歩くことでぼんやりしていたイメージがより現実的なものとなり大変意義のある視察となった。特に亀岡運動公園については、既存の樹木の伐採・保存・移植も確認できた。 大型遊具が設置される広場のその先にある「こどもアートの森」の東側には竹林がうっそうとしており全体を薄暗くしているように思えた。この竹林について何か対処されるのかどうか、そういった気づきができるのも現地視察のよさであると実感できた。 新規事業「放置竹林の竹林整備モデル事業」においては、対象の2か所を視察した。選定理由に多少の疑問を持っていたが、長年地域からの要望であることとの応え合わせができ、今後の事業推進に期待したいと感じた。 道路改良事業においては、資料では測れない規模感が感じられた。 どの事業の視察も肌感覚で感じ取れることで、事業の必要性、予算の妥当性を感じることができた視察であった。

	○現地での整備工事は未着工であり、今後多くの工事が緑化フェアに間に合うのか、確実に竣工するのか不安を覚えた。 施設のリニューアルの必要性は現地を見て実感した。 新たな施設として、ボードウォークや大型遊具、壁面緑化などは再検討の余地を感じた。 ○京都・亀岡保津川公園の整備は令和 7 年度からであるが、来場者の導線が課題であると感じた。 亀岡運動公園の整備に関しては、野外ステージや大規模遊具の設置、プランター等の整備計画はイメージできるが会場横の犬飼川の整備は今後京都府とも連携し整備が必要であると感じた。 また、両会場とも、フェア終了後も活用できる植栽や景観整備を行い、長期的なまちづくりを要望する。 ○本市の素晴らしさを発信して、興味を持った多くの来場者を全国から迎え入れ記憶に残る全国都市緑化フェア i n 京都丹波にするために、事業計画がどのように現地に反映され変わっていくのか、期待がもてた視察となった。現地に改めて訪問し、元々の田園風景が風光明媚なことを再確認し、これを生かしてよりよい会場づくりにも思いをよせた。 竹林整備事業も併せて、かめおからしさの個性を一層に発揮した将来へつなげるまちづくりに向けて、私たちも務めていきたい。 ○いよいよ来年開催となった「第 4 3 回全国都市緑化フェア i n 京都丹波」は、2 市 1 町での横断的なイベントであり、開催にあたり亀岡市でのメイン会場となる J R 亀岡駅北エリアにて具体的な計画を担当課から報告を受け、大いに期待できる施策である事が確認できた。また、引き続き駐車場の課題やトイレ等施設の配置などお越しいただいた来場者に不便が無いように満足してお帰りいただけるように要望させていただいた。 また河原林町勝林島地内の竹林整備事業では、今回、国の交付金である森林環境譲与税を財源とした新たな取組で、地域課題である放置竹林問題の竹材を元に新たな産業の創出につなげる大いに期待できる施策であり、今後本市の他の竹林にも広がっていくため、本事業が成功例となるよう産業建設常任委員会としても支援していきたい。 ○緑化フェア関連整備については、施設改修に向けて着実に進行することを期待する。 犬飼川橋梁取り付け道路については、既存道路との接続について不明瞭な部分があるため、月例の常任委員会で取り上げ、理事者説明を聞いてはどうかと思う。 竹林整備については、竹の有効利用は以前からの課題であり、市域へ広く拡大するためのモデル事業として効果を期待したい。
--	--